

プラン名	「明日香法」を強みとして活かす！飛鳥・観光スタートアップ人材創業塾
団体名	明日香村商工会
団体の活動状況	<p>1971年10月に明日香村内の商工業者の振興と発展を目的として設立され、設立後54年を迎えている。ここ数年は観光関連産業の基盤構築と育成、及び管内小規模事業者や中小企業のビジネスモデル再構築と生産性向上に資する取り組みを重点事業としている。</p> <p>会員数：208事業所（会長1名 副会長2名 理事19名 監事2名 事務局6名）</p> <p><主な事業内容と実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の生産性向上に資する事業計画策定とビジネスモデル構築に関する事業支援（年間15件の事業計画策定） ・地域内外の観光関連産業の活性化のための事業（明日香ストロベリーフェア、あすか夏まつりの開催 他） ・地域内事業者の為の「税務・金融・労務・経営全般」に関する支援（年間500件以上の経営相談を実施） ・公的機関との連携による事業（世界遺産登録推進・地域イベント開催・特産品開発事業 等）
プランの骨子	<p>①明日香村商工会を中心として「観光人材育成プラットフォーム」を構築</p> <p>②全世代に渡って、観光関連産業に関するスタートアップ人材を持続的に育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明日香村・観光スタートアップ人材創業塾」の開講と運営 ・明日香村及び周辺地域住民への創業塾PRと参加者の裾野拡大の取組強化 ・専門家によるSWOT分析、顧客層の細分化等の相談を通じた創業塾参加者自らの事業計画策定 ・座学セミナー、フィールドワーク、ワークショップ研修を通じた参加者の実践力の向上 <p>③育成した人材の出口戦略となる観光マッチングの強化（ビジネスマッチング）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の事業者（バイヤー）との観光マッチング商談会（オンライン）の実施 ・各種支援機関（奈良県商工会連合会、日本政策金融公庫等）のネットワーク活用 <p>④「飛鳥・藤原の宮都」の2026年世界遺産登録（目標）、及び「ベストツーリズムビレッジ2025」の認定に伴うインバウンド高付加価値旅行者層へのプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内DMC、海外エージェント等へのプロモーションを積極的に推進 ・明日香村内での面的デジタル化推進（Googleビジネスプロフィール等の活用の徹底） ・各個別事業者（観光スタートアップ人材）のDX推進

事業活動地域（地図等で具体的に表示）

